

2020年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号
06020101

1. 計画名称

茅野市男女共同参画計画

2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	男女共同参画推進会議において3つの専門部会「区・自治会」「雇用」「家庭・教育」に分かれて審議検討及び啓発活動を行っている。はつらつ事業所認定数も目標値を超え、男女共同参画をテーマにした川柳による啓発活動も順調に進められるなど推進会議委員を中心に活発な活動がなされている。
今後の重点化施策番号	1	説明	平成19年度から推進大会を実施してきたがR2はコロナにより中止となった。イベント的な大会については見直す方向で検討がされている。新たな取組みとしての川柳等のほか、区等へのアンケート、はつらつ事業等の継続した取組により男女協働参画への意識づくりを進めていく。

3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	男女共同参画社会の実現に向けた意識づくり	おおむね順調	・コロナウィルスの感染拡大防止のため、推進大会としての活動はできなかったが、例年実施している男女共同参画をテーマにした「川柳」の募集に力を入れて実施した。、幼い頃からの意識づくりが大切と小中学校へ依頼した結果、多くの小学生から応募があった。	・男女共同参画社会づくりを推進するための活動として推進大会を開催しているが、コロナ禍により、人を集めて開催することが困難な状況のため、推進大会のあり方を再検討することが必要である。	・コロナ禍により、大勢が集まる大会の開催は困難。今後は、男女共同参画を推進するために、継続して実施できる事業を男女共同参画推進委員会と検討する。
2	あらゆる分野への男女共同参画の推進	おおむね順調	・区・自治会長を対象に、区・自治会の女性役員の登用状況や意識調査を行い、結果について公表した。昨年と比べ増加した。 ・日本語教室については、新型コロナウイルス感染症の影響で4月、5月の開催を中止したため参加者数が減少した。	・長い時間の中で形成された性別による役割分担意識を変えるためには、継続した啓発活動が必要である。 ・男女共同参画を推進するために、例年人を集める形式で大会を開催してきたが、今後は推進大会の開催のあり方を内容を含め検討する必要がある。 ・ホームステイと受け入れを交互に行っているが、関係性が薄れることが課題である。	・区・自治会に対する啓発活動の方法や内容を検討する。 ・茅野市男女共同参画推進委員会において、今後の男女共同参画推進大会のあり方について検討する。
3	職場、家庭において男女が共に活躍できる社会の実現	おおむね順調	・茅野市はつらつ事業所について、茅野市男女共同参画推進会議委員による声かけなどにより、認定事業所が89事業所となった。	・茅野市はつらつ事業所の認定事業所は主に製造業と建設業である。他業種の申請を増やすための取組が必要である。	・茅野市男女共同参画推進会議雇用専門部会と連携し、製造業や建設業以外の事業所に対し、茅野市はつらつ事業所の取組について広報で周知する。
4	男女の性の尊重と健康支援	おおむね順調	・コロナウィルスの感染拡大防止のため、推進大会としての活動はできなかったが、例年実施している男女共同参画をテーマにした「川柳」の募集に力を入れて実施した。、幼い頃からの意識づくりが大切と小中学校へ依頼した結果、多くの小学生から応募があった。	・男女がお互いの特性と人権を尊重し、それぞれが能力を発揮できるよう、意識改革や環境づくりが求められている。 ・市民に対し、男女共同参画を考える機会提供し、情報発信していくことが必要である。	・家庭・教育専門部会で進んでいた、男女共同参画をテーマとした川柳の募集について、男女共同参画推進委員会全体の事業として啓発活動を行う。

※5つ以上の場合は裏面へ

4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など	
関連市民団体等名称 男女共同参画推進会議	コロナ禍で男女共同参画を推進していくためには、人を集めて行う大会形式での啓発は困難。今後も男女共同参画を推進していくためには、どのような事業が効果的なのか各専門部会で検討していくことが必要。	コロナ禍において、動員は困難ですが、今後も男女共同参画を推進するために、何が効果的なのかを考慮検討いたします。また、男女共同参画推進会議単独での計画だけではなく、他事業との協働も視野に入れ検討していきます。	
開催回数			1
参加延べ人数			14
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

5. 添付資料

別紙「施策評価シート」